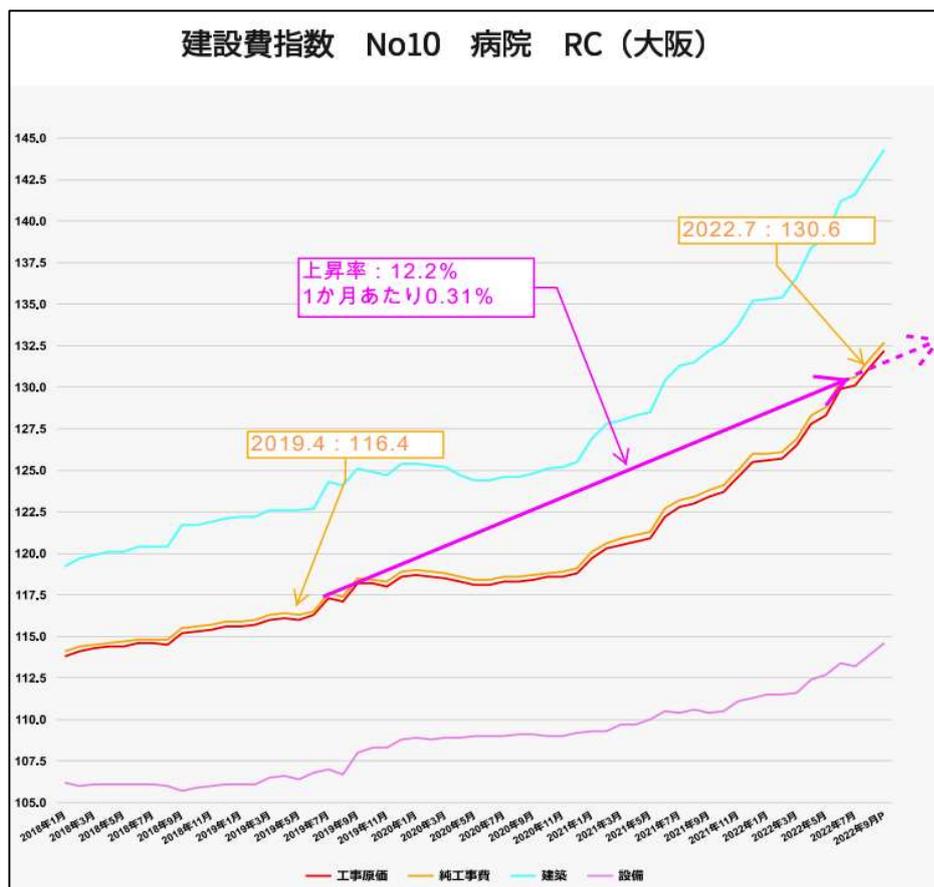


(資料Ⅲ-2) 建設費指数データとシミュレーション上の工事単価設定について

□建設費指数による上昇率 (一般財団法人 建設物価調査会 建築費指数グラフより)



※建設費はここ2か月で1.6%の上昇で推移しており、今後ますます高騰を続ける可能性がある。

※短期での上昇率を用いた想定は極端な価格上昇結果となるため、3年超の期間の上昇率を基に着工予定時期の単価を想定した。

2022.7時点での新築工事単価(建物) **462,000 円/延㎡** ←近年の同規模病院の工事予定価格より想定

2022.7時点での新築工事単価(外構) **22,500 円/延㎡** ←某病院 外構工事落札事例より想定

建設費指数による上昇率(
2019.4	116.4
2022.7	130.6
上昇率	12.20% (39か月)
	0.31% (1か月あたり)
2022.7 → 2027.4	17.83% (57か月)

2027.4(着工想定時) 新築工事単価(建物) 544,374 円/延㎡ 17.83上昇と想定

改め **544,000 円/延㎡** **1,798,355 円/坪**

↑ 2027.4時点での単価と想定

2027.4(着工想定時) 新築工事単価(外構) 26,512 円/延㎡ 17.83上昇と想定

改め **26,500 円/延㎡**

↑ 2027.4時点での単価と想定

(資料Ⅲ-2) 建設費指数データと